

\*\*\*\*  
 男女共同参画標語  
 最優秀賞  
 「男女とも 歩みあわせて  
 輝くとりで」  
 宮下拓也さん 藤代南中学校(当時)  
 \*\*\*\*

40号  
 平成28年11月1日発行  
**風**

\*\*\*\*  
 優秀賞  
 学生の部  
 「同じだね 働く力と 支える心」  
 「認め愛 支え愛 補い愛」  
 「男女の手 大きさ違えど 価値は同じ」  
 一般の部  
 「女の手男の手 合せた未来 取手から」  
 「役割を 担う意欲と 任せるゆとり」  
 \*\*\*\*

# みんなが輝く社会へ 「風」 発刊40号記念座談会

男女共同参画情報紙「風」が、今号で発刊40号を数えることになりました。「男女共生社会」実現に向けて活動する「レディースフォーラムとりで」の編集で、1996年に創刊。2年後からは公募した市民編集員が年2回のペースで発行を続け、20年が経過します。今回はこれまでの紙面づくりを振り返りながら、「男女共同参画の在り方」をみんなで考えようと、藤井信吾市長、編集員経験者に現状、課題などを語り合っていました。

## 座談会 の様子



①左から平塚恒夫さん・大久保礼子さん



②市長を囲んで



③左から綿貫厚子さん・内藤義彦さん

### —— 座談会出席者 ——

- 藤井信吾市長
- 元編集員の綿貫厚子さん
- 大久保礼子さん
- 内藤義彦さん
- 平塚恒夫さん

### 「均等法」の評価する

市長 初めに市長から、「風」40号を迎えたことを踏まえながら、昨今の「男女共同参画」についての意見を伺います。

市長 「風」の編集でこれまで、ご尽力いただいております。

法が施行されて30年が経過し、今、どのように評価するのかというタイミングを迎えていると思います。女性の社会進出は非常に進んでいます。フルタイムで働ける機会確保が期待できなくなっている現状もあります。

どうやってワークライフバランスをとっていくのか、答えを見つけていかなければならないと考えます。

司会 続いて、元編集員のみなさんから、編集員への参加動機などを伺います。

綿貫 男女雇用機会均等法や、女性問題などに関心があったとき、市の広報紙で公募を知り、初の公募委員として参加しました。

内藤 9年間、参加しました。民生委員をしていたときに、当時の会長から推薦されたのがきっかけです。作文が苦手なやめたいと思っても、男性参加者が少ないので続けた思い出があります。

平塚 在職中から関心もあり、妻が参加していた男女共同参画グループのイベントに参加していました。企業や消防署などに取材したことが印象に残ります。

大久保 創刊時、「レディース

フォーラムとりで」でデザインなどの編集作業に携わりました。その後、市が発行することになり、今日まで続いていることは嬉しい限りです。

### お互いが輝く社会へ

司会 共同参画意識の浸透度についての感想を伺います。

平塚 私は会社人間でした。定年間近になって、こういう場に参加してもらい、現状が初めて分かりました。一方で、家庭内にいる主婦の方には、関心のない方もいる訳です。ですから、女性の地位向上のために環境を変えようという意識は、以前と比べてあまり変わっていないのかなという感じは、大久保 家庭のなかでは、お互い出来ることをやっています。

大久保 しかし、いざ社会に出ると環境は異なり、「女だから」という声がかえりました。今は、仕事の在り方で企業も変わり、女性の立場も変わって来ているように思われます。

ワークライフバランスがとれ家庭がうまくいっているならば、男女共同などの堅い言葉ではなく、お互いが輝ければそれで良いと思います。ただ、女性の視点をさまざまに分野でもっと取り入れて欲しいですね。

綿貫 周囲をみると働く女性が多く、パートナーの方と互いに話し合っているという時代にならざるを得ないですね。

市長 育児休業制度などがある業種があると思います。日本社会が本当に少子化を克服し

ようとするならば、後追いで保育所を増やすという考え方もは追いついていかない。行政としても精一杯努めています。社会全体で子供を育てるという意識が大切です。

内藤 行政から進んで取り組んでもらえればやりやすくなります。

大久保 いろいろな話を聞くと育児休業は取得できませんが、その後、入所時期などの問題で子供を預けることが難しくなり、仕事に復帰できにくいという例が多いことを知りました。

市長 取手で保育所の待機児童問題が出てきたのは、ここ2年位です。保育の必要条件が緩和されたことが大きいのですが、預ける側の事情もあるようで、0歳児の待機児童が多くなっています。

大久保 男女雇用機会均等法を生かすには、0歳児を預かる保育所を増やさなければなりません。

### 共同して頑張る若い世代

大久保 若い夫婦を見ていると、携帯電話で互いの仕事の融通を付け合うなどしており、ホッとします。

綿貫 個人の意識の変革は必要です。みなさん働いているから、子供を産むのも遅い位。子育てで忙しいが、ご夫婦で共同して頑張っているというのが実態です。

市長 大手建設機械メーカーの会長の話では、東京の大企業に勤めると給料は多いが、地元を根を張って、同級生、親戚な

ど総動員して子育てをするような納得感のある選択は重要だそうですね。

平塚 地方で結婚した社員を本社に呼び戻そうとする、昇進は望まないで地元に残りたいという若い人が増加。東京が人材不足になるという環境さえ生まれればという話を聞いたことがあります。

### 男女を超えた 支え合いの時代

司会 これからの「風」への期待について伺います。

内藤 私が参加していたころは、男女共同参画という言葉が飛び交っていましたが、もっと優しい言葉が使えないかと感じています。

綿貫 手に取れば楽しく読めることが大切ですね。

大久保 どのような読者に何を伝えたいかで紙面の内容は変わってくると思います。そのあたりを意識した紙面作りが必要だと思っています。

市長 男女共同参画という言葉自体が差別的という時代がそこまで来ています。支え合いの時代で、男女だけでなく世代間の問題にも目を向ける必要があるかも知れません。

平塚 広報とりでと一緒に配布してもらえようになり、見る人が少しは増えたのかなという印象があります。

司会 本日はありがとうございました。貴重なご意見を「風」に生かしてまいりたいと思います。

(荒井・河口)

女性消防士訪問記

「119番消防です。火事ですか、救急ですか？」  
消防通信指令室で活躍する女性消防士

取手市消防本部 取手消防署通信係の西村奈津子さん

消防士は体力を要する仕事であることから、これまで「男の仕事場」とされてきましたが、全国の消防士全体での女性割合は2.4%ほどで、徐々に増えてきています。人の命を救う「消防士」という仕事にやりがいを求める女性が増えるような受入側の体制整備は喜ばしいこと。取手市消防本部で働く女性消防士を取材しました。



通信係で無線対応している西村さん

消防士になったきっかけは、活躍する姿の憧れから

「高校2年の時に偶然目撃した火災現場で活躍している消防士の姿に憧れて、目指すようになりまして。今年で16年目になりますが、今でも鮮明に思い出します。」と語ってくれました。平成13年4月に

取手市消防本部で初めての女性消防士として2名採用され、現在、女性職員は4名に増えました。内訳は、指令員1名、警防・救急隊員2名、予防課員1名です。

やりがい、チーム仲間とのきずな

119番通報の電話が指令室に入ると、一気に緊張が走ります。ただちに現場に一番近い消防車、救急車に出動指令を出し、必要に応じて警察、病院、ライフライン機関への連絡・調整を行い、途中経過をフォローする。そして火災が鎮火し、緊急搬送が完了して出動した署員全員の帰署、これで一安心ですが、更に出動事案の報告・データの整理までが一連の流れ

だそうなんです。途中段階では状況変化に対応しながら判断し、調整していかねばならず、決断の的確さ・迅速さに加えて冷静さが要求されます。「災害対応にはチームワークが必要です。119番を受けてから出動指令までは数分です。短い時間で必要な情報をできる限り多く聴取し、消防隊、救急隊に送信する。それぞれの役割がスムーズに繋がっていくことができた時がチームのきずなを強く感じる瞬間であり、やりがいを感じています。」

消防士といえば、我が身を省みず炎の中に飛び込んで行く危険な仕事と一般的に思われていますが、「自分で選んだ道であり、女性だから『辛い、怖い』ということはありません。危険じゃない現場はありませんので、日々の訓練により、個々のスキルアップはもちろん、職員の信頼関係を築いています。」



女性消防士のみなさん  
左から、飯田美登里さん・稲葉悠野さん・西村奈津子さん・館 菜美さん

仕事と家庭の両立、今後の抱負、将来について

現在の取手消防署の女性消防士は4名(女性割合2.5%)で、「女性消防士の人数・割合

をもっと高めていきたいし、もっと女性消防士の希望者を増やしたい。そのためには、今ある仕事を全うすることが将来の女性職員の躍進に繋がると信じて努めていきたいと思っています。宿直勤務があり、家を空けることが多々ある仕事の一つですので、家族の理解と協力が必要不可欠です。」と笑顔で語ってくれました。

今後も市民の生命・財産を守っていただくことを感謝しながら、より一層頑張っていきたいことをお祈り申し上げます。(土屋)

編集後記

多くの人々の想いがこもった「風」が、発行40号を迎えました。この間20年の歩みは貴重で、これを節目に一層、市民の皆さんと共に話し合える、親しみやすい紙面づくりに努めたいと考えています。昨今の「支え合い」は「性差」を超越し、「男女共同」にこだわらざるに、差別にもつながるという主張があるそうです。「風」も、多様な生き方を背景に変化する環境を機敏にとらえ、時代に即した取り組みの必要性を感じています。(荒井)

『女と男とともに輝く』の集いが今年20歳を迎えます!!

20周年記念 女と男とともに輝く20年間の集い

20周年記念女と男とともに輝く20年間の集いが11月20日(日)に開催されます。毎年秋の恒例となつてこのイベントも今年で20年目。男女共同参画という言葉さえ知られていなかった20年前、市民啓発事業の1つとして発足し、以来、時代と社会の変化とともにその役割を模索しながら発展してきました。

20年の節目を迎える今年、人生の節目に着目したトークイベントが企画されています。

基調講演 長谷川幸介先生

自分の居場所を見つける 輝ける役割を見つける 幸せな生き方を見つける

トークイベントでは、茨城大学教育学部特任准教授の長谷川幸介先生をお迎えし、基調講演のほか市民参加の座談会で座長を務めていただきます。

川幸介先生を講師にお迎えし、基調講演のほか市民参加の座談会で座長を務めていただきます。

基調講演では、家族、学校、職場、地域、社会との関わり方、人との繋がりを通して、自分

長谷川先生ってどんな人?

長年、生涯学習や地域社会論を専門として研究されているほか、全国で多数の講演を行っているらしいです。今回は、コミュニティカフェを経営する奥さまと、ご夫婦そろってご参加です。独特の語り口とユーモアを交えたわかりやすい話に定評のある長谷川先生ですから、会場が笑いに包まれるのは間違いなさそうです。

二十歳×1・2・3 座談会

誰もが経験する人生の節目 そのときあなたは?



過去のとりでの集いの様子

第20回ということは、人であれば二十歳です。そこで、来年一月に成人式を迎える若者と2回目の二十歳、40歳(代)、3回目の二十歳、60歳(代)の市民が座談会に登壇します。世代やライフステージによって社会・地域との関わり方や環境がどう変化していくか、その

アトラクション

とりでの集いは、「市民交流の場」でもあります。トークイベント以外にも多彩な催しが準備されています。市内愛好家によるハワイアン、毎年好評の物販では、クーロンヌ(パン)、シモタファーム(ハーブ)、江戸てん(オリジナル手ぬぐい)が限定品をご用意し

20周年記念 女と男とともに輝く とりでの集い

11月20日(日) 12時半開場  
取手市福祉交流センター  
(取手市役所敷地内)

※詳細は、取手市ホームページ、広報紙、市内公共施設でのポスター、チラシで案内しています。

発行日 平成28年11月1日  
編集発行 取手市 市民協働課  
土屋雅則/下園淳子  
河口優子/荒井俊夫  
TEL 0297-74-2141  
TEL 0297-74-1539  
FAX 0297-73-5995  
H・P http://www.city.tatebayashi.jp/  
Eメール s-shien@city.tatebayashi.jp  
表紙絵 有本 唯